



フィールドバスシステム／共通注意事項①

ご使用前に必ずお読みください。

各シリーズの製品個別注意事項につきましては、本文をご確認ください。

設計・選定上のご注意

⚠ 警告

- ①仕様範囲を超えて使用しないでください。
仕様範囲を超えて使用すると、火災・誤動作・システム破損の原因となります。
仕様をご確認のうえ、ご使用ください。
- ②インターロック回路に使用する場合は
 - 別システムによる(機械式の保護機能など)多重のインターロックを設けてください。
 - 正常に動作していることの点検を実施してください。
誤動作による、事故の恐れがあります。

⚠ 注意

- ①ULに適合する場合、組合せる直流電源は、UL1310に
従うClass2電源ユニットをご使用ください。
- ②規定の電圧でご使用ください。
規定以外の電圧で使用すると、故障・誤動作の恐れがあります。
- ③足場になる箇所には取付けないでください。
誤って乗ったり、足を掛けたりしたことにより過大な荷重が
加わると、破損することがあります。
- ④保守スペースを確保してください。
保守点検に必要なスペースを確保してください。
- ⑤銘板を取外さないでください。
保守点検時の誤りや取扱説明書の誤使用により、故障・誤動作
の恐れがあります。
また、安全規格不適合の恐れがあります。
- ⑥電源投入時の突入電流にご注意ください。
接続される負荷によっては、初期充電電流により過電流保護
機能がはたらき、製品が誤動作する可能性があります。

取付

⚠ 注意

- ①製品取扱い時や組付け時には、
 - 製品を取外しするとき、勢いあまって手をぶつけない
ようにしてください。
製品結合部はパッキンで固く結合されています。
 - 製品を結合するとき、製品の間指を挟まれないよ
うにしてください。
けがの恐れがあります。
- ②落としたり、打ち当てたり、過度の衝撃を加えないで
ください。
破損し、故障・誤動作の原因となります。

取付

⚠ 注意

- ③締付トルクを守ってください。
締付トルク範囲を超えて締付けると、ねじを破損する可能
性があります。
指定の締付トルクと異なるトルクで締付けた場合、IP65/67
が達成されません。
- ④大型のマニホールド電磁弁を持ち運ぶ際には、接続部
に応力がかからないように持ち上げてください。
大型のマニホールド電磁弁の場合には、製品との接続部が破
損する可能性があります。
また重量物となる場合もありますので、持ち運ぶ際には無理
をせず、複数の作業員にて運搬/設置作業を行ってください。
- ⑤製品を設置する際には、平らな面に取付けてください。
製品全体にねじれが発生すると、エア漏れもしくは接触不良
などの原因となります。

配線

⚠ 注意

- ①製品の耐ノイズ性を向上するために、接地を施して
ください。
接地は駆動系のインバータ等とは別の専用接地とし、製品か
らの接地距離を短くしてください。
- ②ケーブルに繰返し曲げや引っ張り、重い物を載せたり、
力が加わったりしないようにしてください。
ケーブルに繰返し曲げ応力や引張力が加わるような配線は、
断線の原因となります。
- ③誤配線をしないでください。
誤配線の内容によっては、製品が破壊したり、誤動作したり
する恐れがあります。
- ④配線作業を通電中に行わないでください。
製品や入出力機器が破損したり、誤動作したりする恐れが
あります。
- ⑤動力線や高圧線と同一配線経路で使用はしないで
ください。
動力線・高圧線からの信号ラインのノイズ・サージの混入
により誤動作の恐れがあります。
製品や入出力機器の配線と動力線・高圧線は、別配線(別配管)
にしてください。
- ⑥配線の絶縁性をご確認ください。
絶縁不良(他の回路と混触、端子間の絶縁不良など)があると、
製品、各入出力機器への過大な電圧の印加または電流の流れ
込みにより、製品や各入出力機器が破壊する可能性があります。



フィールドバスシステム／共通注意事項②

ご使用の前に必ずお読みください。

各シリーズの製品個別注意事項につきましては、本文をご確認ください。

配線

⚠ 注意

- ⑦ 製品を機器・装置に組込む場合は、ノイズフィルタなどを設置し十分なノイズ対策を実施してください。
ノイズの混入により、誤動作の恐れがあります。
- ⑧ 配線作業を行う際には、水・溶液・油がコネクタ部より内部に浸入しないようにしてください。
破損し、故障・誤動作の原因となります。
- ⑨ コネクタ部に応力が加わらないように配線をしてください。
接触不良の原因となり、故障・誤動作の要因となります。

使用環境

⚠ 警告

- ① 可燃性ガス・爆発性ガスの雰囲気では使用しないでください。
火災・爆発の恐れがあります。
この製品は、防爆構造ではありません。

⚠ 注意

- ① 次のような場所で使用する場合は、遮蔽対策を十分に実施してください。
対策が不十分の場合は、誤動作・故障の原因となります。
対策効果の確認は、個々の機器・装置に組込んで実施してください。
 - 1) 静電気などによるノイズが発生する場所
 - 2) 電界強度が強い場所
 - 3) 放射能により被曝する恐れのある場所
 - 4) 動力線・高圧線が近くを通る場所
- ② 油分・薬品環境下では、使用しないでください。
クーラント液や洗浄液など、種々の油並びに薬品の環境下での使用につきましては、短期間でも製品が悪影響(故障、誤動作など)を受ける場合があります。
- ③ 腐食性のあるガス、液体がかかる環境下には使用しないでください。
製品が破損し誤動作する可能性があります。

使用環境

⚠ 注意

- ④ サージ発生源がある場所では、使用しないでください。
製品周辺に、大きなサージを発生させる装置機器(電磁式リフター・高周波誘導炉・溶接機・モータなど)がある場合、製品内部回路素子の劣化または破壊を招く恐れがありますので、発生源のサージ対策を考慮いただくと共にラインの混触を避けてください。
- ⑤ リレー・電磁弁・ランプなどサージ電圧を発生する負荷を直接駆動する場合の負荷には、サージ吸収素子内蔵タイプの製品をご使用ください。
サージ電圧が発生する負荷を直接駆動すると、製品破損の恐れがあります。
- ⑥ CEマーキングにおける雷サージに対する耐性は有していませんので、装置側で雷サージ対策を実施してください。
- ⑦ 製品内部に、粉塵、配線クズなどの異物が入らないようにしてください。
故障、誤動作の原因となります。
- ⑧ 製品は、振動、衝撃のない場所に取付けてください。
故障、誤動作の原因となります。
- ⑨ 温度サイクルが掛かる環境下では、使用しないでください。
通常の気温変化以外の温度サイクルが掛かるような場合は、製品内部に悪影響を及ぼす可能性があります。
- ⑩ 直射日光の当る場所では使用しないでください。
直射日光が当る場合は、日光を遮断してください。
故障、誤動作の原因となります。
- ⑪ 周囲温度範囲を守ってご使用ください。
誤動作の恐れがあります。
- ⑫ 周囲の熱源による、輻射熱を受ける場所での使用はしないでください。
動作不良の原因となります。



フィールドバスシステム／共通注意事項③

ご使用前に必ずお読みください。

各シリーズの製品個別注意事項につきましては、本文をご確認ください。

調整・使用

⚠ 警告

- ①濡れた手で操作・設定をしないでください。

感電の恐れがあります。

⚠ 注意

- ①設定スイッチは、先の細い時計ドライバーなどで設定してください。

またスイッチ操作時は、関連する部分以外には接触しないようにしてください。

部品破損および短絡により故障の原因となります。

- ②ご使用状況に合せた、適切な設定を行ってください。

不適切な設定になっていると、動作不良の原因となります。各スイッチの設定に関しては、取扱説明書をご参照ください。

- ③プログラミングおよびアドレスに関する詳細内容は、PLCメーカーのマニュアルをご参照ください。

プロトコルに関するプログラミングの内容は、ご使用のPLCメーカーにての対応となります。

保守点検

⚠ 警告

- ①分解・改造(基板の組み替え含む)・修理は行わないでください。

けが、故障の恐れがあります。

- ②保守点検をするときは、

- 供給電源をOFFにしてください。
- 供給しているエアを止めて、配管中の圧縮空気を排気し、大気開放状態を確認してから実施してください。

システム構成機器の、意図しない誤動作の恐れがあります。また、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

- ①製品とバルブマニホールドを分離／結合する際には、

- 勢いあまって、手をぶつけないようにしてください。結合部はパッキンで固く結合されています。
- 指を挟まれないようにしてください。

けがの恐れがあります。

- ②保守点検を定期的実施してください。

機器・装置の誤動作により、意図しないシステム構成機器の誤動作の恐れがあります。

- ③保守点検完了後に、適正な機能検査を実施してください。

正常に機器が動作しないなどの異常の場合は、運転を停止してください。

システム構成機器の、意図しない誤動作の恐れがあります。

- ④製品の清掃は、ベンジンやシンナなどを使用しないでください。

表面に傷が付いたり、表示が消えたりする恐れがあります。柔らかい布で拭き取ってください。

汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってから汚れを拭き取り、乾いた布で再度拭き取ってください。

その他

⚠ 注意

- ①バルブマニホールドの共通注意事項および製品個別注意事項は、各製品シリーズの掲載されているカタログをご参照ください。